

THE ASAHI WEEKLY EDITION

週刊朝日

第二十號

第二十卷

大正十一年二月二十五日
第三種郵便物認可

昭和二年九月十一日發行
(通卷第三百十一號)

海女

の研究

醫學博士 暉 峻 義 等

秋立つ頃

徳田 秋聲

小品



秋 日 月

日 曜 日 發 行

定 價 一 部 十 二 錢

第十二卷第十二號

昭和二年九月十一日發行

表紙 秋日より

裏面 上海の極東大會、ロシヤ
機岡山着、美保ヶ關沖の殉
難將卒の合同葬儀、二科入
選の關東關西女史、アメリカ
へ行く市松人形

鞍馬天狗餘燼……大佛次郎
「海女」の研究……陣崎義等
地方色

豆蔵の女……樺内吉胤
行燈の物語……東家秋聲
秋立つ頃……榮壽王
テニス球試合……佃家銀魚
高座漫談……幽水生
モデル料一時間……新
に七千五百圓

新編プロレタリア文藝
その概観……山内房吉
黒い眼鏡(小説)……里村欣三
生活に於ける雄感……前田河廣一郎
生みの點描……松村善壽郎
未明小川先……大佛次郎
大阪洋書協會……三村伸太郎
聖賢映畫解説……三村伸太郎
フアンの喜ぶ映畫……木朝庵
唐手術の物語……吉澤良恭
秋野菜の作り方……長谷川浩三
あんなく物語……專門大家
文壇噂ばなし……永川俊美
こども相談……鶴松
育兒相談……永川俊美
朝野二黨の……永川俊美
看板くらべ……永川俊美
辭職したセシル卿……岡本鶴松
内外日誌……永川俊美
雜誌月評……永川俊美
黄金の河童話……古家新繪
今秋の流行……三遊亭小圓朝
布引落語……川瀬巴水繪
畫壇漫話……久保松勝喜代
關其その折々……坂田名人
實戰詰將棋新題……森田牛高
勝繼聯珠……森田牛高

注意 「週刊朝日」に對する
問合せは必ず往復はがきの事(返信面に宛
名記入の事)及び寄附等も必ず週刊朝日
宛記入されし、返稿は致しません。

鞍馬天狗餘燼

大佛次郎 作
佛谷隼 繪



【第六】

初篇 鉞り組 (六)

「こんな話なの？」
お照は心持いらだてて窓の傍まで
ざり寄つた。處女らしく肉のふくら
み厚い面輪を、外の光が優しく彩さ
る。寂しい顔立……いづれも、誰だ
けに、誰が見ても魅惑を感じざるやうな
みづくしい若さが、たゞ心持沈んで
輝いてゐた。

三吉は、自然と鼻息をひろけて唇
をゆるめたが、それを凝り凝り見て、
やに真鍮な顔色になつて
「姐さん……」
「……？」
「私もあんまり、ひどくないことなん
ですし、これ私の口から出たといふ
ことは菅村さんは勿論だが誰にも、固
く前編の梗概 慶應三年の末
から、薩摩の御用盗三吉と高
い「鉞組」が江戸の市中を騒
がしてゐた。

彰義隊の一員菅村銀蔵が、
その友神道無念流の名手とし
て聞けた薩摩伊織を助けて、
今日も鉞組の話をしてゐた。
が、菅村は、その鉞組をかせ
に、美女お照を手に入れよう
としてゐるのである。
銀蔵が、船頭の三吉と大川
に船を流して、謀をめぐらし
てゐる時、佃の寄場に船をつ
けた者が二人ゐる。

一人は、夜鷹蕎麦屋の源八で
ある。彼等は、銀蔵が鞍馬天
狗の「鉞組」をかせにして、
悪事をたくらむのを嘆きつけ
たらしい。
が、銀蔵等こゝで、それを感
じないわけはない。で、暗打
ちをしたが……三吉がある
日、お照をたづねた。

何といふ恐ろしい言葉であらう。
天にも地にも掛替のない伯父、お照
にはたつ一人残つてゐる血縁の人間で
はなかつたらうか？
お照は、泣くに泣かれない氣持で、
うつかりして長く美しい睫毛の陰に
目を宙に据ゑて動かなかつた。これへ
三吉はなほ寄り添つて来てそつと囁
いた。

「姐さん……」
「……」
「まったく逃げるよりほかありません
ね。ね、手引は私が、いくらで
しますから……木桶山さんに相談な
つて……」
無言でお照は裾長く立ち上つた。長
い袖に顔をうづめて、泳ぐやうな足付
で、次の間へ駆け込んだのである。

不意のことだつたのできやうとした
やうに見送つた三吉も次の部屋から聞
いて来る忍び音のすゝり泣きの聲を聞
いて、やれ／＼と思つたやうににやり
したが、また急に竹の格子へ顔を押し
附けるやうにして
「姐さん……」
「……」
「それア反つていけません。よくお考
へなされる方がよい御座んす、私ア姐さん
のお爲を思つて中上げたのですから
ね。」

かういひ置いて、窓から離れて、石
崖つたに裏の方へ姿を消した。
三吉は、現に伯父と菅村の話を聞
いて来たといふのである。自分のやう
に弱女をつかまへて、それまでの嘘
をいふ者もなからうと思はれる。考へ
れば考へるだけ、最早疑ひを差挟む餘
地はないやうに思はれて、胸は迫つ
た。泣いて及ばぬことなのである。そ
れは百も承知の上で、涙はこめこめな
く頬を濡らした。
(伯父が、鉞り組に……)
ほかの人ではなく、あの小さな伯父
だつた。さうして、これが、眞實と思
はれたらう。嘘であつてくれればよい。
あの憎らしい三吉が、出資せの嘘
をいつて、あたしを騙してくれたのだ

二科入選の民國新進秀畫家關東女史



人達の手磨
氏珍義腰名富

琉球名物 唐手術の話

佐々木彰磨

◇琉球人の喧嘩

何日であつたか少し前の話であるが、東京の某新聞に「琉球人〓朝鮮人の喧嘩」といふ見出しの三面記事があつた。私はその記事の内容を讀まない中に「ハハハこれは琉球人が勝つたに違ひない」と豫感したことがあつた。讀んで見ると果して、横濱で琉球人〓朝鮮人各數名が酒の上から入浴して喧嘩を始め、朝鮮人は奴物を持つてゐたのに琉球人が身に寸鐵も帶びず、唯己れの拳でしかも散々に相手を負傷させたといふことであつた。私は之を或る或る思つた。何となれば琉球には恐ろしい武術秘傳の武術「唐手術」といふのがあつたを知つてゐたからである。

琉球人總てが此の唐手術を體得してゐるといふ譯ではないが先天的に唐手術のコツを知つてゐる者が多いからである、私は今この琉球名物の武術唐手(二種の拳闘術)について少し述べて見たいと思ふ。

私は今、唐手（てうて）を一種の拳闘術（けんとうじゆつ）といつたが歐米（おうべい）の拳闘（けんとう）とは又一種を異（こと）にしてゐる。歐米の拳闘術は最近我國においても一般競技と共に盛んに勃興（はつこう）し來り去る六月には學生拳闘聯盟を中心にして大日本拳闘協會まで組織せられたことであつた。又米國では去る七月二十一日ニューヨークのヤンキース・スタヂウムにおいて、前の世界拳闘選手權保持者デムブシーと新進選手ジャック・シヤークーとの間に試合が行はれるこゝいふ外國電報はその當時日本青年の血を湧かしたところであつた。

かくの如く歐米の拳闘術が盛んに持
 囃されてゐるのに、我國においてしか

も二十年も前から立派な参詣街、唐手が盛んに行はれてゐる。いふ事を恐らく日本人でありながら知らない人が多いのだらうと思ふ。知らないのも無理はない、九州より遙南方の交通不便な一孤島琉球りゅうきゅうにおいてのみ行はれてゐるたからである。が今やこの唐手かて術が東京においても盛んに知られる機運が到来した。その事については後に述べることにし



へ 構 の 手 磨

て、唐手術は琉球獨特の拳闘術で、俗にテクブシといつてゐる。テクブシはいはゆる手拳であつて、身に寸鐵をばひずして徒手空拳よく敵を挫き、身も護る事が出来るといふ意味である。

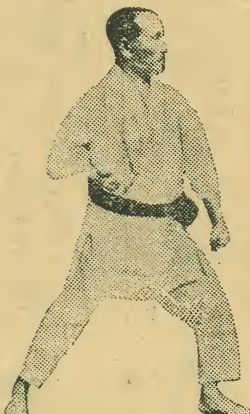
この唐手術にも種々秘法があつて、丁度劍道にも道場がある如く、琉球には唐手を教へる道場があつて、そこには立派な唐手の達人がゐて弟子に一人一手を取るやうに熱心に教へてゐる。

◇唐手術と拳闘術

唐手術と歐米の拳闘術との異なるところは、歐米の拳闘術はいはゆる「クンズベリの規則」によつて法律上一定の制限があつて闘技者には必ず「手套」を附けしめ、身體の上半部のみを用ひ

しかも抱合つて相援するこゝを築じてあるが、唐手には、そんな制限はない。拳脚共々に使用し、拳はつき、脚は蹴る。こゝふのが普通の攻撃法でしかも攻撃を加へる箇所が、主に胸部や掌丸や腎臓部または顔面でも鼻根、頬、頤、顎など何れも人間の急所ばかりである。それに控出し、谷落し、槍玉、頸環、咽押へなごいふ柔道にあるやうな投け業もあるのだからますます危険である。

かくの如く一遍急所をやられたら直ぐに致命傷であるから、歐米の健闘術



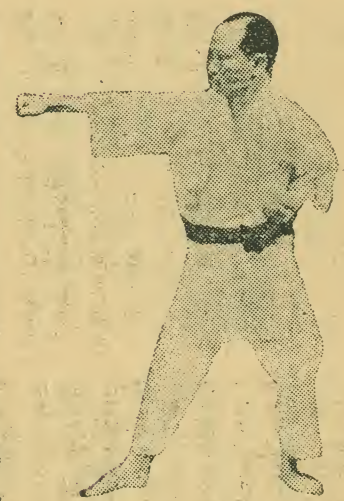
蹴を腹下や丸臈が敵
左をろこきた來てつ
が手右めこけ受で手
ゐてしを意用の撃攻
る

の如く競技的に興行的に、唐丰の試合を公衆の面前で見せるべき性質のものではない。唐手も漸次研究の歩を進め

へ 構 の 手 唐

て、防具を附け急所を露じてやるやうになれば試合も出来るだらうが今のところ困難だらうと思ふ。今までもしばしば柔道と唐手の試合をさせやうと思ひた事があつたが何れも危険を慮らうと中止になつたが、柔道にしても歐米の拳闘よりも唐手の方が取組の方が難だらう。

唐手の試合を見たのなら、勢ひひびの實戦でもないなければ見られないが、唐手の型ならば幾らでも見ら



こけ受で手右を撃攻の敵
は裏を敵が手の左や今め
ゝるゐてしこん

る。唐手からての型かたをやつてゐるころを見る。唐手からての感じかんじのするもので、筋骨きんこつが

ねたまゝ拳で衝いてものゝ美事に四枚
共打割つた話もある。

かういふ風だから琉球の手拳を一つ見舞はれたが最後死を免れないだらう
唐手の攻撃を受けて身體の表面に傷は

隆々^{たかたか}り盛上^{もは}り、拳^{こぶし}で衝^つき足^{あし}で蹴^ける形^{かたち}。
キビくこして實^{じつ}に勇^{いさ}ましいものである。

◇恐しい偉力

◇恐しい偉力
 唐手術の衝く力の練習も、榮の鍛冶のために圖のやうな巻銀といふのを習ひるが、唐手術を習得した人の榮をひるこ、節々が暗黒色に堅くなつて凄まじく、まるで金槌同然でこれぞ一撃ガンこやられたら堪へたものではない。現に少し唐手を稽古した人ならば五分板や瓦位は平氣で打割つて



敵の攻撃手に構へながら敵を指で刺殺せんこゝる勇姿。

まふ。某琉球出身の水兵が唐手の拳
鐵板を衝いて凸凹にしてしまひ將校
の他の水兵さんを驚かせた話もあれ
また最近東京第大の道場で唐手の名
富名腰氏の門弟某が七分厚の板四枚



敵から顔面の攻撃を受けたのを左手で受けこめ右手は攻撃の用意をしてゐる。

肉殊に胸部、下腹部、背部の筋肉の
抗力の修練法など數ふれば違かないば
である。

かくして熟達すれば普通の人には
信じられないやうな人間離れのし

は慶長十四年琉球が薩摩の降参國となつて一切の武器を取上げられてから時代の要求が空拳の術を創造せしめのではないかともいはれてゐる。

が、最も有力なのは現今唐手の名

同ころけ受で手左を撃攻の敵
の丸撃の敵じ乗に隙の敵に時
は拳の左ほ尙 る蹴をりたあ
るへ權に撃攻

◇唐手の來歴

一體たいいこの琉球りゅうきゅうの武術ぶじゆつ唐手たうては何時の時代に出来たものか。唐手たうては文字じふの示す如く唐かうは昔の支那しなの事で、これから見ても支那から傳來の武術だらうといふ

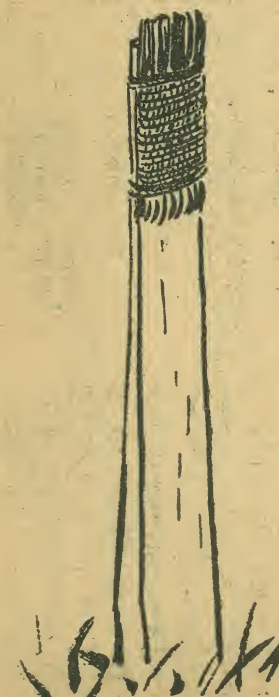
永い間の遺傳性で、決して近代になつてから傳はつて來たものは考へられないのである。

◇立派な護身術

説が有力である。口碑の傳ふところ
 による。約二百年前、佐久川某が支那
 で稽古して歸り琉球に弘めたといひ
 また支那人公相君といふ人が琉球に渡
 同ころけの丸擊の左は拳

現今沖縄の中等學校では唐手を課
 に加へて教へてゐるが、學校では單
 唐手の型のみを教へて、實用向き
 のは教へてゐない。さうして唐手な
 を學校で教へるやうになつたかとい
 こ、これには面白い挿話がある。
 それは、全體唐手といふものは昔
 ら各師匠が自分の流儀の秘傳を餘り

卷 圖 衝く練習拳を慣らす爲めに用ふ。杭の全長約
 七尺で地上四尺五寸、地下二尺五寸、幅三寸、厚さ上端五
 分、下端二寸五分、突く度に彈力ある様に出來てゐる。



るが、明治三十四、五年のころ、壯
の體格検査の時、特に秀拔たる體格
青年についてその原因を調べたところ
それが唐手で鍛へられたものなる事



の右をろこきた來てつ打の敵
 左り蹴で足に共さるけ受で手
 雲を敵でめ固を拳に正は手の
 るみてし意用さんか

ヤーキーこの間に試合
ふ外國電報はその當時
湧かしたここであつた

ンスプリの規則によつて、沙律、一
の制限があつて、闘技者には必ず三套
の制服、身體の上半部のみを用ひ、
附けしめ、

かくして熟達じゆたつすれば普通ふつの人には一寸信しんじられないやうな人間にんげん離れはなれのしな

のではないかともいはれてゐる。
が、最も有力なのは現今唐手の名人

青年についてその原因を調べたところ
それが唐手^{から}で鍛^{きた}へられたものなる事が

弄明して、遂に師範学校中學校で誤目
こして誤へられるやうになつたのであ

る。

實に唐手を一年も習へば全然體格を改造するばかりでなく、短日月の練習でも一見普通人と識別し得る位に顯著なる効果を擧げるのである。これで見ても唐手術は立派な護身術であるばかりでなく、體育上からも非常なる價值があるものといふことが出来る。

琉球最近の斯道の達人といはれた蘇
洲翁が八十六歳、安里翁が八十一歳、
山口、知念兩翁が八十六歳、知花、崎
原兩翁が八十歳、喜友名翁が七十五歳、
さへふ風に何れも高僧でありながらな
ほかくしやくとして壯者を凌ぐ元氣で
二十人位では動かせないほどの達人で
あつたといふ、かくの如く長壽を保つ
てゐたのも確かに唐手で鍛へたお蔭で
あつたと思はれる。

異くも 今上陛下未だ東宮に在はせ
 しころ、大正十年三月海外御巡遊の途
 次、第一寄灣地として琉球に御立寄の
 際、琉球名物の唐手を台覽に供し、い
 たく御感服遊ばされたこと承る。ま
 た秩父宮殿下にも御渡英の際、琉球に
 御立寄遊ばされ、この唐手を御覽遊ば
 された。琉球の唐手は重ね々光榮
 に浴した譯である。

その他出羽海軍大將や故上村彦之丞大將等がそれ／＼第一艦隊司令長官時代に、或は八代大將が第二艦隊司令官時代に、海軍要基區域たる琉球の中城灣に寄附の際など唐手を見學し、海軍に相應はしい武術に賞めたるへたさうである。殊に八代大將は唐手に對する理解深く、軍艦航行中、わざ／＼水兵の幾分隊かを毎朝中學校に派遣し

て唐手の稽古をさせた位であつた。かくの如く琉球に珍客の訪問ある毎に、

必ず名物の唐手を紹介してゐるが、何れもその男性的なのに感服するらしい。

◆や東都へ乗出す

漢那海軍少將が杖藜、艦長時代に、唐手が軍人にも必要で武術たるを認め、寫眞まで添えてその筋へ意見書を提出し、海軍軍人に之が普及をほかつた事があるが、血氣の青年が酒でも飲んで

之を濫用したら危いからさいふ理由で却下されたさうだが、そんな心配は毫もいらないと思ふ。世間往々唐手の何物たるかを知らずして、あの武術は最古い、原始時代のものだと妄断を下す人もあるが、藝言もまた甚だしい。唐手位に文明的で君子的武術はないと思ふ。種々の武器携帯を許されない今日、徒手空拳で身を護り敵を挫く事の出来るかやうに便利な武術が又さある

だらうか、殊に婦人の貞操問題の矢筈らしい今日、婦女子が稽古しても立派な護身用になるだらうと思ふ。

さて最後に今やこの唐手術が南方の一孤島から花の東京へ乗出す機運が廻つて來た。日本武術の二大研究家ともいはれる、講道館においては嘉納治五郎先生が非常に唐手に理解があり、陸軍戸山學校においては既に唐手を教授してゐる有様である。なほ又、東京帝國大學で數體大學といふ

人富名腰義珍氏は有志の學生に教へてゐる。先日わざわざ帝大の道場^{みちば}に起きその禮^{れい}古振^{こしん}りを見たが數十人の帝大生が何れも熱心に修得してゐた。

富名腰氏の話による三婦人の弟子も一人ゐるさいふ事だが、男子は勿論婦人の方々もこの唐手術を禮古^{れいこ}として身體を練り、身を護る方法を講じたらよいだらうと思ふ。(をはり)

秋野菜の作り方

京都府立植物園
古
津
良
恭

「秋過ぎて宵闇くらし蟲の聲」さいふ
家があります。立秋も過ぎ蟲の聲音が
一層冴へて秋の氣分が日一日と濃厚の
度を加へて參る情趣を詠んだのであり
ます。空地を花のために利用してをら
な氣——肥料は潤澤なほご優良な
ものが採れます。結球する白菜などは初
めに葉先を抱き合せ藥で巻いてやるこ
結球を助けます。葉を豊か食害せぬ様
に注意を怠らない事が必要です。

れた人は、野菜作りに飽きたさるやうになります。少くも野菜作りは娯樂と實利とが伴ふからであります。

野菜では秋時にして早いものは十月から年内までに夫々收穫を見るので實用的である意味から非常に家庭の庖厨を賑はかし、主婦からは重寶がられて愉快なものであります。その上に子供達と一緒に採取する楽しみはまた格別の園樂とが窺はれ想像もつかない快よ

葱——東京葱さて白根を多くするに
は伸長するに従つて時々土を根元にかけ寄せまゝに甘味のある白く軟い部
分が出来ます。青葱でも霜が降りる間
は極く軟いものであります。これは
他の野菜と異なつて利用法も略決つて
ゐる關係上重寶ではあるが家庭など
は餘り多くは作らないものです。け
も作るならば取扱ひ上苗を見つて植
るのがよろしい。

い運動を兼ね味はへるのであります。
また、秋の草花作りは生長が遅いの
ミ手入に素人方が時易されるので、た
さへ丈夫な種類であつても、遅く野菜
のそれと比べ物にはならないのです。
秋時野菜は寒さにも至つて強く、蟲も
つかさ、何んな初心の方でも栽培なし
に少しの心得だけで、楽しい菜園を作
る事が容易に出来るのであります。今
左に家庭向に作られる主なる有用種を
挙げて栽培上の要點を併せて話したいこ
す。

蒔籾草——種子は一度水に浸し、發
芽したものを時くミ良しい。適當な大
さになれば利用し、初冬まで隨時時か
れて差支なく、もし出來が悪ければ畑
に少量の消石灰をおやりなさい。

豆類——これは植る替へない方がよ
いので一尺餘りの距りに時くのであり
ます。二尺に伸びれば簡單な支柱を與
へて倒れないやうに保護したいもので
す。豆は、ふだんよく見掛けますが、豇

思ひます。
 大根類——實用根を利用するのです
 から、最も丁寧に深耕することが必要
 であります。有機質の腐熟したもの、
 灰などを踏め施しておく事です。時
 時としては美濃早生は八月上旬から随
 時時かれてよく、小さな菜園の場合で
 は、少し宛時いで収採し、直ぐ追時す
 る方がよろしい。一時に澤山收穫して
 も無駄になりませうから。また一種よ

の成る木は子供達のためにこんなに
 い教化を與へ感興を覺るかも知れま
 せん。
 シュンギク——波蔵草に準じて作つ
 てよろしい。
 馬鈴薯——種薯は餘り小さく割らな
 いことです。追肥よりは基肥に重きを
 おき木灰、鶏糞、腐つた糞などを多分に
 施し、花が付けば取り去るのでありま
 す。深く深い土嚢を最も喜びます。

りも數種作る。採收季がかはるために利用の上から長期にわたつてその都度役立つ便利がありますから家庭向では量よりも種類を澤山作られることをお薦め致します。

蕪菁——最も良質なものを得ようとするならば、必ず初秋に蒔くのですが別表の種類の如く適宜選定されるのも面白いでせう。用途が廣いだけに菜園には缺く事の出来ない種類であります。

種類 大根 美濃早生 晩生練馬 宮重 聖護院 方領 天王寺 蕪著 聖護院 伊豫緋 近江 彩色蕪

播種してより二ヶ月で採取し得るもので細長種で漬物用

根形の細尻、葉は濃綠色、澤庵漬根身太短く先丸し煮物、切干用

練馬種の太いもので尻細甘味に富み煮食用

中形種で球形に近く糠漬、三枚酢に良し

丸大型純白の良種、干枚漬として其はる形小く根節扁平にして鮮紅色漬物用

扁平大圓種 肉質緻密柔軟煮るも壊れぬ特點あり

外國より移入せるもの早生の小形、外皮黄を呈し赤條あり美濃

摘 要

[illegible]

蠶豆 於多福
同 岩 代
シユンギク
馬鈴薯 アーリー
同 スノー
同 フルー
ホワイ ト・エ
レフアント
同 はいから
毒 德利
同 大正
同 大正

實(じゆん)は、五月に熟す。破種着月にして
播種後二、三ヶ月で採取し得煮用、シダシにす
米國産早生種、扁平外皮濃紅色、肉質脆く淡黃
卵圓扁平、黃白色にして皮薄く芽淺く調理用
圓形にして外皮緻密暗黃褐色を呈し、肉淡黃
細長顆粒味く黃味あるルビー色
厚張るもの深紅色、大顆なるも豊産ならす
多産にして栽培に適す、丸型中粒

ではありませんが、^{せきやう}魁の果實として、^{じやう}ミは確しいとされてゐます。作物にヒ

春の菜園を賑やかすために作られて樂しみなものです。

なほ品種としては次の様なものゝ内から選ばれて良いと思ひます。

以上のほかに西洋野菜として知られた花椰菜、落莖、甘藍、セルリーなど随分多數の種類がありますけれ共これ等は種子も細く移植、採取まで種々専門的な煩雜な管理を必要とするのでありますから、省くことにし専ら家庭園間隔に植ゑてよろしい。馬鈴薯も馬鈴薯

つて前の幅を三尺、四尺三寸いふ風に作り上げるのであります。

播種 これからなら何時から始めても差支ありません。大根、菜類であれば條間にして條間を一、二尺の距りを保つてのす。蒔き終は極く薄く土を覆ひ灌水するさよい種子ならば一週間内外で一齊に發芽します。また葱、草薺苣などは苗を求めるのが便利で約五十間隔に植ゑてよろしい。馬鈴薯も馬鈴薯

向の内地に順化した豊産で、且つ丈夫な種類を選びました。次に作り方の大略を述べることに致します。

整地 日當り、風通しの良い場所を選び、鋸かスコップの類で畑一面耕すことです。その際草木の根、石礫は根の伸長を遮るから丁寧に取除きます。殊に排水の悪い土地であれば、高畦にするとか傾斜に畑を設けるとか夫々適當な方法を採らねば良い効果を収めること。

間引 茶や大根類には極めて大切な仕事となつてゐます。條狀に一列に用ゐる折か出揃つた時第一回の間引を始めます。

す。要するにカツチリした苗を選び、苗が平うじて相接する程度に止め、あまり一度に澤山間引くも後で病蟲で倒れることが往々ありますから、等源にしない様に常に適度の間隔を保たしめます。家庭用ならば普通五、六寸位の隔たりで間引は中止します。

肥料 菜類は出来るならば、隔日に淡い人尿を與へるこよろしいが、油

粕でも米のトギ汁、鶏糞などを施す。生育を助け品質も良くなり収量多く成熟をも十分にり満足な成績を収めるここが出来るのであります。野菜は成長が早いだけ肥料の消費もそれが多いのですから出来るならば潤澤に施してほしいのであります。

害蟲 害蟲もあります。主に蠶蚕、

です。多くはアブラムシであります。これは石鹼二匁位を水に溶し露炊で澆

注しますと容易に死滅します。その植物の莖は家族の者が時々見廻りその都度摘殺することによつて造作なく害らしい被害もなく退治されるものであります。す。

收穫 馬鈴薯、豆類の採收は遅く來春まで待たねばなりません。大豆、菜類などは間引が最早利用されるのであり絶つて收穫を續けてゐるのであります。美濃早生大豆の如きは二

ケ月で大きな根が出来てゐるのです。それ以後は畑に長く残して置いても大して肥るものでもないから、かやうな種類は早速利用し、直に第二回、第三回を追蒔するのが得策であります。また種類は年内で殆ど收穫されますから、跡地は直に豆類とかシユンギク、苜蓿、草等を蒔き付けて畑をあけない様に集約的に始終輪作することに心掛けねばなりません。

秋の野菜は狭い畑でも利用によつては驚くべき生産を収めることが出来るのでありますから、生育期間の比較的長い花物よりもズツと有意義なものです。私が敢てお薦めするゆへにもまたこゝにあるのであります。たほ花の寄植などと同じ様に、お庭で採れた作物を美しい籠に盛りこんの新築の籠盛を贈り物にするのも何んなにか床し、優しいものでせう。(完)